

耐寒性、在圃性に優れる寒玉系品種

NX-BY025

予告品種

キャベツ



開発コンセプト

暖地の年内～年明け収穫において、寒さによる球へのアントシアンの発現、外葉の傷み、肥大および球締まりの不足が問題となっています。そこで、耐寒性が高く、アントシアンの発生や外葉の傷みが少なく、低温伸長性に優れる品種として、「NX-BY025」を開発しました。

特 性

- ①暖地の8月上中旬播き、12月中旬～1月中旬どりに適する寒玉系品種。
- ②草姿は半立性を示し、草勢は旺盛。
- ③球形は甲高扁円形で球色は濃緑色。球重は1.8～2.0kgくらいとなる。
- ④低温伸長性、耐寒性、在圃性に優れる。
- ⑤萎黄病に抵抗性を持つ。

第71回全日本野菜品種審査会 栽培概要

播 種：2019年8月14日
定 植：2019年9月11日
畝間60cm×株間27cm
審 査 会：2020年2月7日
場 所：愛知県豊橋市



耐寒性、低温伸長性に優れる

寒さの厳しい時期でも、優れた低温伸長性を発揮ししっかりと肥大しました。耐寒性が高く、外葉の傷みなどが少なく青々としていました。

抜群の揃い性

定植後の乾燥傾向、10月中下旬の台風や集中豪雨によるダメージをものともせず、順調に生育しました。審査会では、球は甲高扁円形に良く揃い、高評価を頂きました。



地 域	8月	9月	10月	11月	12月	1月
暖 地	●	●	●	●	●	●
	●	●	●	●	●	●

● 播種期 ---- 育苗 ● 定植 — 生育 ■ 収穫